

「(仮称)道の駅平泉」の考え方

基本理念

平泉来訪者との相互交流の場を提供、悠久の歴史都市平泉を世界に発信する。

テーマ

国道利用者が自然景観・眺望の素晴らしさを感じながら、旅の疲れを癒しゆっくり過ごせる空間へ。

整備方針

- ▷ 一般国道4号利用者に対する安全性と利便性の向上
- ▷ 回遊観光の拠点と情報発信機能の充実
- ▷ 世界文化遺産からの眺望の保全と環境負荷の低減
- ▷ 地域交流の場の整備

位置づけ

国道4号利用者への沿道サービス、「平泉の文化遺産」を世界に発信するための中心拠点、新たな平泉の地域振興拠点として位置づける。



「(仮称)道の駅平泉」の完成予想図

「平泉らしい」道の駅の整備を目指す

基本理念・テーマを踏まえて

「(仮称)道の駅平泉」の整備方針を次のようにしました。

① 一般国道4号利用者に対する安全性と利便性の向上

一般国道4号における道の駅の空白地帯に新たに道の駅を設け、休憩施設と道路交通情報を、国道4号利用者へ提供します。

② 回遊観光の拠点と情報発信機能の充実

町内を回遊する場合、車から循環バス、ツアータクシー、徒歩、自転車などの地域内交通へ転換するパーク&ライドの拠点とします。また、情報発信の拠点として、道路情報を提供するとともに、平泉の歴史や文化、名所や特産物などまちの魅力を紹介します。さらには地域内の生活情報も発信する拠点として、多様な情報発信機能を整備します。

③ 世界文化遺産からの眺望の保全と環境負荷の低減

世界遺産の拡張登録を目指す

【特集】

「(仮称)道の駅平泉」の整備が始まります

■ 問い合わせ先…まちづくり推進課 ☎46-5578

国道4号平泉バイパスと県道相川平泉線との結節点であり、柳之御所資料館の隣接地に新たに誕生する「(仮称)道の駅平泉」。地域特産品の販売、イベントの開催をはじめ、地域の観光情報、道路情報などを提供する新たな町の地域振興拠点として、平成29年春のオープンを目指し、いよいよ整備が始まります。

「道の駅」の機能とは？

全国各地にある「道の駅」。それら道の駅には次のような機能があり、これらを最大限発揮することで、地域の活性化につながっていきます。

▽ 休憩機能

道路利用者、特に女性や高齢者ドライバー、長距離ドライバーなどが安心して自由に立ち寄れます。

▽ 情報発信機能

道路情報や地域の文化、歴史、特産品などの情報を活用して、多様で個性豊かなサービスを提供します。

▽ 地域の連携機能

個性豊かなにぎわいのある空間になることで、活力ある地域づくりや道を介した地域連携が促進されます。

柳之御所遺跡に隣接して計画される道の駅で、「通常の道の駅」とは異なる性格を持っています。そのため、柳之御所遺跡を視点場とした眺望の保全が重要になるとともに、駐車場からの騒音など環境負荷の低減に配慮し、施設全体が緩衝帯の役割を果たすような一体的整備を図ります。

④ 地域交流の場の整備

にぎわいとたまりを創るため、農産物直売所の出店や郷土料理を提供し訪問者をもてなすとともに防災倉庫や水辺プラザとの継ぎ目のない整備により、地域内住民が使いやすいコミュニティ機能を確保します。



「(仮称)道の駅平泉」の建設予定地